

～自他共栄で地域の活性化を目指して～
山之内 章さん(久万高原町(旧久万町))

愛媛県農業指導士 久万高原町農業経営者協議会会長
久万高原町農業委員会委員
◎久万高原トマト部会明神支部副支部長
久万高原町青年農業者連絡協議会元会長 1963年生まれ



☆経営概況☆

夫婦と両親、そして、県立農業大学校を卒業した長男が加わり、家族5人で夏秋の大玉トマト（ビニールハウスによる雨除け）46a、水稻362aを栽培しています。作業はほとんど家族で行い、定植時等に限り若干名臨時雇用します。

冬季にはトマト栽培圃場の土づくりや山仕事（林業：約50ha）をして、比較的のんびり過ごしています。

☆ここがポイント☆

いずれは継ぐ！との思いでしたが、高校卒業後、社会経験を積むために約10年、会社勤めをしていました。林業中心の仕事の時期もありましたが、当時の経験が今の農業にも生きています。

夏場は農業、冬場は林業との複合経営が特徴で、トマト、水稻はJA部会で取り組んでいるエコえひめ認証を受けた減農薬、減化学肥料栽培です。トマトが経営の中心で、昔から土づくりには力を注いできました。栽培管理のポイントは、とにかくこまめな作業を怠らないことと作業遅れを生じさせないこと！これに尽きます。

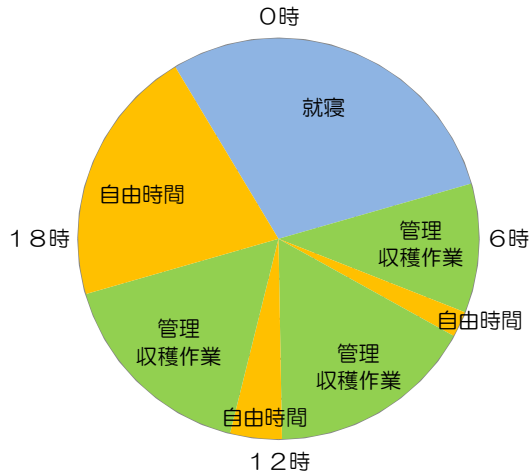


芽かき作業



稲刈り

【一日のライフスタイル (一例)】



【普段の生活について】

4～11月はトマト+水稲栽培でてんでこ舞いの生活です。特に7～9月にかけては休みなどありません。夜な夜な趣味と実益を兼ねたパソコン操作をたまにする程度です。

逆に、冬場の作業はのんびり行います。それが山仕事での安全対策でもあります。積雪すれば休業。機械やバイクいじり、撮りためた洋画鑑賞などで過ごします。久万スキーランドは自宅から目と鼻の先。かつては子供達とスキーもしていました。

【一週間のライフスタイル (一例)】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	← 収穫・出荷・管理作業 →					
【農閑期】	← 林業・施設補修・土づくり →				← 休日 →	



子どもたちへの柔道指導



檻でいのししを捕獲

☆これからの夢や目指すもの☆

タイトルにも書いた「自他共栄」。柔道の世界で使われる言葉です。私の夢は、家族がこの自然豊かな久万高原町で未永く農林業で生計を立てていけることです。その為にはトマト産地としての地域基盤の維持が必要です。

これまで、子育てや柔道指導等で農業に専念できない場面もありましたが、やっと少し時間に余裕がでてきた感じです。長男の就農を機に、自身の経営のみならず、地域の担い手としての役割を若手農家達へバトンタッチすることについても考えるようになりました。

☆メッセージ☆

業というのは、何をやっても難しいものだと思います。農業もそれは同じです。バラ色の未来を描いても、それを実現するのは中々容易なことではありません。幾度の失敗を繰り返しながらでも、描いた夢の実現のため懸命に頑張っていると、やがて道が開けてくるものだとも、私は思っています。幸い、久万高原町ではトマト農家を目指す新規就農者のための研修、就農支援が充実しています。興味を持たれた方は、ぜひ一度、町に相談してみてもはどうでしょうか。